

第147回 生存圏シンポジウム

Metal hyperaccumulator

-植物の金属集積機構の解明と その応用に向けて-

平成22年1月22日(金) 10時30分~
京都大学 宇治キャンパス(宇治市五ヶ庄)
おうばくプラザ きはだホール

午前の部

開会挨拶

10:30 矢崎 一史(京都大学生存圏研究所)

基調講演

10:40 植物と重金属-その多様性・その利用-
長谷川 功(日本大学大学院生物資源科学研究科)

一般講演 1

11:05 木本植物やナギのカドミウム蓄積機構の
解明とその応用

原田 英美子(京都大学生存圏研究所)

11:30 ハクサンハタザオの系統的な位置づけおよび
その種内変異

河邊 昭(国立遺伝学研究所集団遺伝研究部門)

11:55 カドミウム耐性植物ミソソバの茎特異的な
カドミウム集積機構の解析

新町 文絵(日本大学短期大学部生物資源学科)

午後の部

一般講演 2

13:50 放射光マイクロビーム蛍光X線分析を用いて
ハクサンハタザオに蓄積されたカドミウムの分布
と化学形態を解明する

保倉 明子(東京電機大学工学部環境化学科)

14:15 高エネルギー放射光XRFイメージングとXAFLSに
よるタバコにおけるカドミウム集積・解毒機構の研究

高田 沙織(東京理科大学理学部応用化学科)

14:33 実用化フェーズに入ったモエジマシダによる
ファイトレメディエーション

北島 信行((株)フジタ 技術センター)

14:58 高濃度重金属耐性植物「ヘビノネゴザ」の
秘密を探る

吉原 利一((財)電力中央研究所環境科学研究科)

一般講演 3

15:50 ニッケル超集積性植物タカネグンバイ由来重金属
トランスポーターのニッケル耐性・集積機構における役割

西田 翔(三重大学大学院生物資源学研究科)

16:15 蕨類ヒョウタンゴケの原系体細胞を用いた
水環境中の金属資源回収技術

井藤 賀 操((独)理化学研究所植物科学研究センター)

16:40 木本植物タカノツメのカドミウム吸収能力

竹中 千里(名古屋大学大学院生命農学研究科)

17:05 コシアブラのマンガン超集積とその利用

水野 隆文(三重大学大学院生物資源学研究科)

参加希望者は下記まで
事前登録をお願いします
(聴講無料)

講演終了後研究交流会を開催します

主催：京都大学生存圏研究所

共催：文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(C)

「木本植物を用いた重金属汚染土壌のファイトレメディエーション法の開発」

世話人：水野隆文(三重大学大学院生物資源学研究科) 矢崎一史、原田英美子(京都大学生存圏研究所)

問合せ、シンポジウムおよび研究交流会参加申込先：

原田英美子(京都大学生存圏研究所 生存圏学際萌芽研究センター) 〒611-0011 京都府宇治市五ヶ庄

Tel: 0774-38-3686; Fax: 0774-38-3623; Email: eharada@rish.kyoto-u.ac.jp